



水田 恒一 議員

赤十字社員増強運動

問

例年5月になると、赤十字社員増強運動があるが、半強制的ともとれる割当てがあると感じる広報委員もいる。

自主的な運動になるよう指導できないか。

答

中村市長

広報委員さんへのお願いに当たっては、各地区の目標額をお知らせしているが、あくまでも目安の額であり、個別の金額を定めたものではない。また、強制するものではなく、赤十字運動に御賛同をいただける方の任意の気持ちであることを記載した依頼文書を同封し、御協力をお願いしている。

表札の件においては、赤十

字の表札は2万円以上の社費を納入していただいている方へ表彰や感謝のしるしとしてお贈りをするものである。

広報委員さんに御苦勞をおかけしていることは、十分認識をしております、表札を初めとする表彰の制度については、趣旨の広報周知にさらに力を入れていく必要があると考えている。

いずれにしても、強制的な捉え方が生じないよう、この運動の趣旨等について、あらゆる機会を通じて周知を一層図ってまいりたい。



赤十字特別社員表札

公的施設における子ども
の安全性

問

①校内・校外活動における事故に対する対応で、頭の強打など一刻を争うものもある。事後処置の対応のマニュアル作りと周知を求む。

答

中村市長

②おおひら保育所については、遅きに失した感があるが、固い床などに、クッションフロアを利用すべきと思う。各施設の改修に一考願いたい。

①市内統一の保育安全マニュアルを作成し、日常より危機管理や危機対応に努めている。事故発生時に保育士がマニュアルに基づき、いかに迅速かつ適切に対応できるかが重要であり、各保育所において、定期的な事故発生時における職員の役割分担や連携等を確認し、マニュアルの検証を行うなど、緊急時の対策向上に努めてまいりたい。

②今後の対応として、施設建設・改修の際には、クッションフロアの使用についても十分検討し、より安全・安心な施設の計画としたい。

答

宮岡教育長

①各小・中学校においては、毎年度実情に合わせてマニュアルの更新をしている。マニュアル化されていない幼稚園においては、文書化し、危機管理の徹底を図るよう指導していく。

②おおひら保育所については、遅きに失した感があるが、固い床などに、クッションフロアを利用すべきと思う。各施設の改修に一考願いたい。

伊予消防署庁舎建設の
土地選定

問

当初、地震を想定して、新庁舎の新たな建設予定地は、高台が候補地となっていた。今回、国道沿いの現在地の横に、建設を計画し、土地を購入するに至った経緯を伺いたい。

答

総務部長

合併当時は、消防本部機能を含めた消防庁舎の整備を検討し、地震による津波の影響のない高台、高速救急の対応から高速道路に近く、また中山・双海にも近い場所を候補地として検討していた。

その後、消防の広域合併の構想もあり、鋭意検討を行ってきたが、平成25年度を目標とした消防の広域化素案が県から示され、本部機能の必要もなくなり、防災の拠点施設として伊予消防署庁舎の建設をすることになった。

建設場所の選定に当たっては、さまざまな調査により、



現庁舎と新庁舎建設予定地

津波、浸水被害区域を再精査したところ、津波の実質的な水位上昇は0.5から0.9メートル程度で、漁港や港湾の物揚場に打ち寄せるものの、防波堤を越波することはないと予測され、現在地で問題がないことを確認し計画した。

その他の質問事項

- ・自動体外式除細動器（AED）の不具合について
- ・小・中学校の統廃合に関連して
- ・新型インフルエンザ対策に関して
- ・市営住宅の収入超過世帯について